

近畿総合通信局

採用案内

2025

目 次

① 私たちについて

近畿総合通信局の組織 2

仕事紹介 4

② 入局後の道のり

採用後はどんな感じ？ 9

ミライの私はどうなるの？ 10

③ 先輩職員からのメッセージ

最前線で活躍中の先輩職員から 11

本省経験職員から 14

新規採用職員に聞いてみた 15

④ Q & A

ワークライフバランス（出産・育児に係る両立支援制度） 16

ワークライフバランス（多様な働き方の推進） 18

皆さんの疑問にお答えします 19

（参考）電波って何に使われてるの？ 23



近畿総合通信局は、情報通信政策を所掌する
総務省の地方支分部局です。

滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の2府4県において、

- ・地域の情報化
- ・放送の受信環境整備
- ・無線局の免許
- ・電波の監視
- ・電気通信事業の許可

などの所管業務を通じて、安心して快適に利用できる
情報通信社会の実現に向け、様々な施策を推進しています。





近畿総合通信局の組織

近畿総合通信局

総務部

総務課

局内庶務、人事、給与

財務課

予算決算、各種契約
国有財産管理、電波利用料徴収

企画課

企画、総合調整
広報・報道、情報公開

情報通信部

電気通信事業課

電気通信事業の登録・届出等
電気通信関係資格者証の交付
電気通信消費者支援

情報通信連携推進課

産学官連携・研究開発支援
ICTベンチャー支援
地域コンテンツ流通の促進

情報通信振興課

地域情報化、情報通信による地域振興

放送部

放送課

放送関係無線局の許認可
放送受信相談

有線放送課

ケーブルテレビ・有線放送の登録・届出・
監督

無線通信部

電波利用企画課

周波数の割当
電波利用の促進に関する調査研究
電波の利用状況の調査・公表

航空海上課

航空機・船舶関係無線局の許認可
無線従事者資格の免許

陸上第一課

電気通信事業者の無線局の許認可
電波伝搬障害防止

陸上第二課

国・地方公共団体・公益事業・鉄道・
バス事業者の無線局の許認可

陸上第三課

タクシー・MCA・一般私企業・
簡易無線・アマチュア無線等の
無線局の許認可

電波監理部

電波利用環境課

電波利用環境保護の周知広報
電波適正利用推進員制度、電波環境対策
登録検査等事業者、高周波利用設備の許可

監視課

電波の監視、不法・違法無線局の探査・処分
基準不適合設備への対応

調査課

電波監視設備・機器の保守管理
電波の発射状況の調査
電波の利用状況の調査

近畿総合通信相談所

情報通信行政に関する一般的な相談

防災対策推進室

情報通信技術を用いた防災・減災

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティに関する周知啓発

2025年日本国際博覧会協力室

大阪・関西万博への協力

信書便監理室

信書便事業に関する許認可・監督

コンテンツ適正製作取引調査室

放送コンテンツ製作取引適正化の推進

※出張所・支所はありません



総務部

局の司令塔

- 総括・総合調整

近畿総合通信局全体の総括、取りまとめをしています
- 福利厚生・人事・給与・会計

職員が安心して働ける環境を整えます
- 採用活動・広報活動

当局の業務内容や魅力を伝えます
- 災害時の通信確保への対応

通信ネットワークの復旧を支援します
- 信書便※制度の監督

信書便事業の監督を行っています

(※) 特定の受取人に対し、差出人の意思を表示し又は事実を通知する文書



	衛星携帯電話	簡易無線	MCA無線	公共BB	ICTユニット
	通常の携帯電話では通話が困難な地域での利用が可能	1km～5km程度の通話が可能	中継局を中心に半径30km程度の通信が可能	VHF帯（200MHz帯）を使用し、映像伝送等のデータ通信が可能	迅速にWi-Fi環境の構築が可能な通信設備
近畿	 10台	 51台	 10台	 4式	 6台
全国	 442台	 995台	 179台	 11式	 13台

災害発生時の貸し出し機器一覧（例）

情報通信部

社会のデジタル化を実現

- 地域社会DXの推進を支援 総務省施策の紹介など地域DXの推進をサポートします
- ICTベンチャービジネスの発掘 ビジネスコンテストの実施・支援をしています
- サイバーセキュリティの強化 サイバーセキュリティに資する人材を育成します
- デジタル活用支援の推進 高齢者等のデジタル活用への不安解消に努めます
- ICTリテラシー向上の推進 インターネットの安心・安全な利用を考える取組を実施します
- 消費者保護の充実 電気通信サービスの安心・安全な利用を支援します

講座開催 3万回超 のべ496万人が受講

e-ネットキャラバン

「児童・生徒」「保護者・教職員」を対象とした「安心・安全なICT（インターネット）利活用」を啓発・推進する活動です。全国で無料講座を開催しています。

オンラインでも受講可能

受講料・謝金・交通費 不要

全国どこでも受講可能

安心・安全なICT（インターネット）の利活用を学ぶ e-ネットキャラバンの無料講座

ネット依存、ネットいじめ、不確かな情報の拡散、誤い出しなどについて、児童・生徒に的確な知識の伝達を注ぎ、トラブルを未然に防ぐための「啓発講座」です。

総務省・文部科学省が実施しています

地域社会DXを推進するための情報が満載！

「地域社会DXナビ」は全国の地域社会DXの事例や関連記事など、目的の情報探しをナビゲートするプラットフォームです。

地域社会DXナビ

※2分でわかるDX推進
地方創生を加速！地域社会DXを成功させるための5つのポイント

地域社会DXに関するインタビューを掲載

地域社会DXに関する支援施策をご紹介

総務省の支援事業

1分でわかるDX推進

1分でわかるDX推進

事例紹介
大川村防災情報システム整備事業、大川村LPガスサイレンシステム及び新谷地区BWAネットワーク整備事業

事例紹介
福井県産品の販路拡大プロジェクト

活力ある地域づくりのヒントが見つかる

地域社会DXナビ

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域社会DXナビ

<https://dx-navi.soumu.go.jp>



未来に向かってはたくピッチイベント

ミライノピッチ 2024

mirai × innovation = mirainno

GO! 5G

5Gは次世代の移動通信システムです。IoT時代のICT基盤として様々な分野での活用が期待されます。

5G

放送部

身近な放送、実はここから

- 放送・ケーブルテレビの許認可 テレビ・ラジオの放送局の免許手続きを行います
- 放送ネットワークの強靱化 災害等に強い放送ネットワーク作りを促進します
- 臨時災害放送局の貸出 臨時災害放送局の設置・運用訓練を支援します
- 放送受信環境の整備推進 放送サービスの良好な受信環境の整備を推進します



放送アンテナ



テレビ・ラジオを
受信障害から守りましょう



【臨時災害放送局の運用訓練の様子】
放送設備を通して、安否情報や炊き出し情報等を周知します



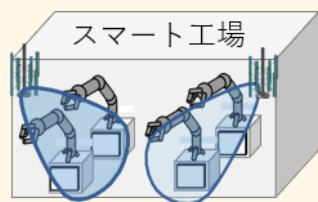
無線通信部

電波利用にはルールがあります

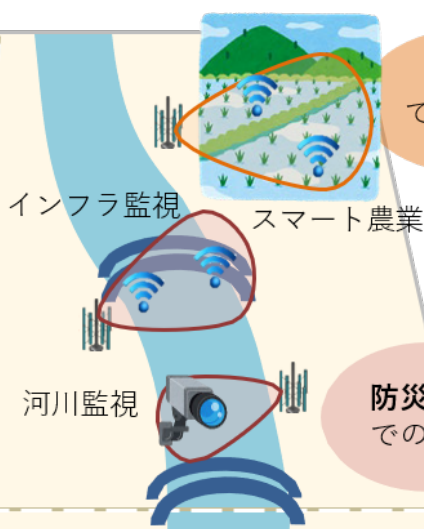
- 無線局の免許
電波を利用する幅広い無線局の免許手続きを行います
- 無線従事者資格※の管理
無線局運用に必要となる資格を発給・管理します
- 電波の有効利用促進
電波の利用状況を調べて有効利用を促します
- 非常時通信ルート確保
近畿地方非常通信協議会と連携し自治体に提案します
- 電波の伝搬障害防止
高層建築物による電波の障害を防ぎます



建設現場
での活用



工場での
活用



農業
での活用

防災現場
での活用



ローカル5Gの活用イメージ

👉 活用事例の詳細はこちら

電波監理部

電波利用のルール破りは許さない

- 正しい電波利用の周知・啓発 幅広い年齢層、属性に向けた広報活動を実施します
- 重要無線通信妨害の排除 妨害源の探査を実施し、迅速に排除します
- 不法無線局への対策 捜査機関との連携や電波監視システム（DEURAS）
- 高周波利用設備に関する許可 高周波電流のエネルギーを利用する設備を審査します



大規模イベント等における特別電波監視



大阪市内でラッピングバスが走行！



電波利用環境保護
キャラクター
「デンパ君」



採用後はどんな感じ？

4月

採用後、全国の同期と共に総務本省（千代田区）や情報通信政策研究所（国分寺市）で約1ヶ月間研修を受けます。無線や情報通信の仕組みなどの基礎的な知識の習得から、国家公務員の権利・義務やビジネスマナー等について幅広い研修があります。



5月

大阪に戻ってきてからも職場研修が続きます。各課の業務を学びながら、実際に使われている放送施設や無線アンテナの見学もします。



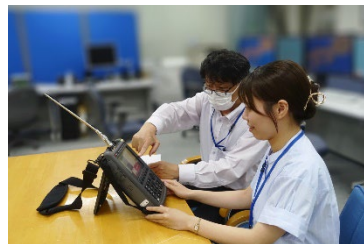
6月

6月1日は「電波の日」、電波法施行を記念した式典にスタッフとして携わります。



7月
8月
9月

採用から6ヶ月間は条件付任用期間です。業務では、先輩職員である指導員によるOJTにより、実務を通じた業務習得を目指します。



10月

正式に採用され、本格的に業務に携わることになります。



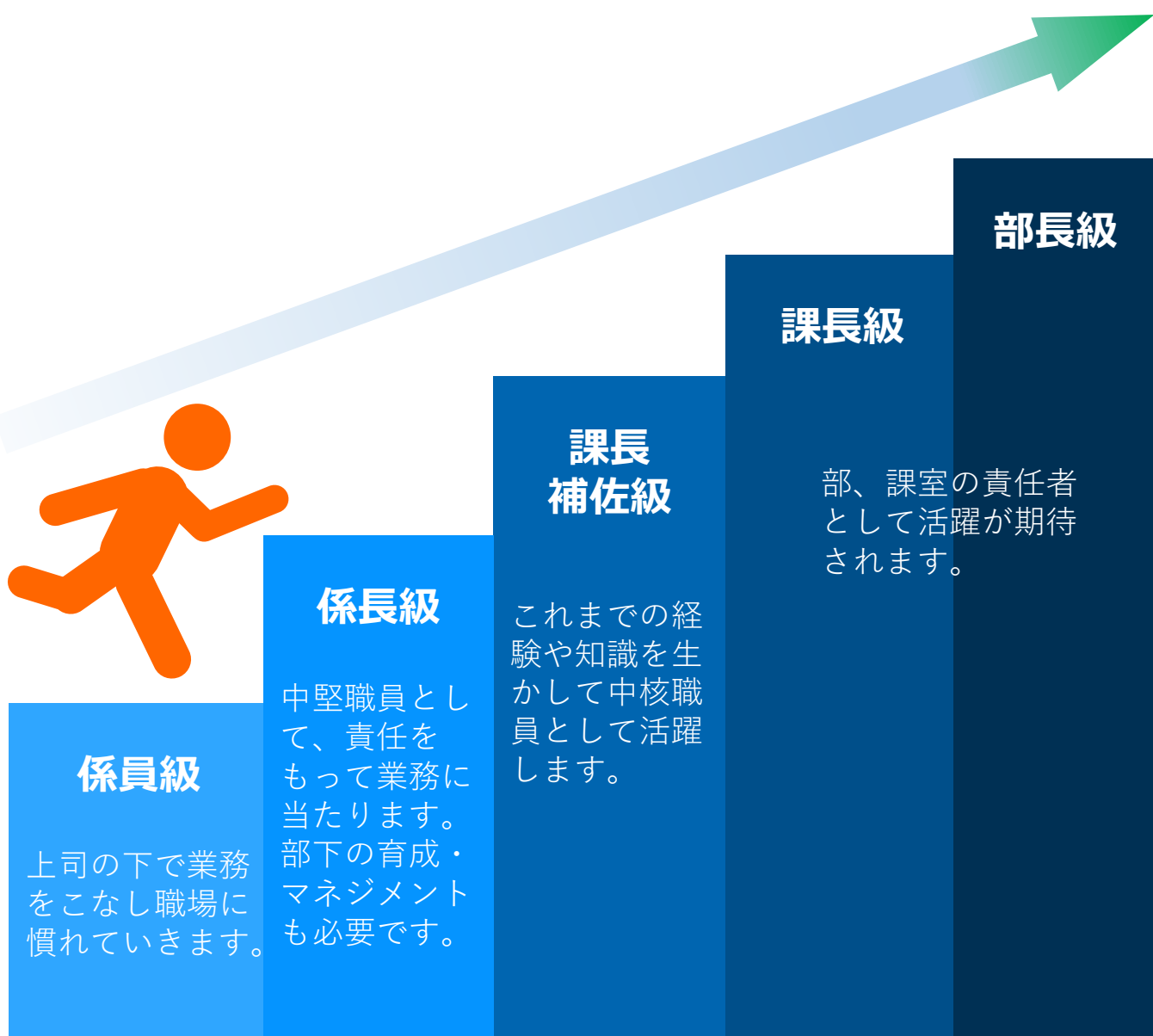


入局後、約2年ごとにある人事異動を経験しながら、国家公務員としてのキャリアを積んでいくことになります。

採用3年目には2年間総務本省の業務に携わる機会があります。

また、地方自治体など関係機関で働く機会もあります。

様々な組織経験や、人との出会いを通じて、一人ひとりに合ったキャリアプランを描いていくことが可能です。





- ❖ 放送部放送課
- ❖ テレビジョン放送担当
- ❖ 平成30年4月採用
- ❖ 事務官
(情報理工学部出身)

近畿管内におけるテレビジョン放送局の許認可・監理監督業務に携わっています。私たちの生活に身近なテレビには電波が使用されており、それらが安定して受信できるよう、電波法に基づいた審査を行い、免許を付与します。

日進月歩する情報通信技術により放送の視聴形態にも変化が現れていく中、迅速かつ正確な情報伝達手段の役割を担う放送を支え、維持することで、人々の暮らしを豊かにする仕事にやりがいを感じます。

また、職場環境の面では、テレワークや時差出勤など、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方が可能な点、同僚も和やかで風通しもよく、やりがいと働き方の両輪が揃っている点が当局の魅力です。

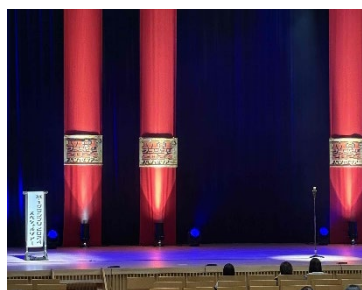
1日のスケジュール

- 8:30 登庁
一日のスケジュール・タスクの確認。
- 9:30 申請書確認
事業者から提出された無線局免許申請の審査を行います
- 12:00 昼休み
午後の仕事に向けてしっかりとリフレッシュ
- 13:00 事業者との打ち合わせ
申請に関する質問や、施策について意見交換。
- 16:00 打合せの報告書作成、翌日以降のタスクの整理。
- 17:15 退庁
帰宅後はご飯を作ったり、趣味に没頭したりして充実した時間を過ごします。

休日の過ごし方

友達と美味しいごはんを食べに行ったり、大好きなお笑いライブを観に行っています！

有給休暇がととてもとりやすいので、家族や友達と予定を合わせての旅行も計画中です！



- ❖ 情報通信部
情報通信連携推進課
(サイバーセキュリティ室兼務)
- ❖ 研究推進担当
- ❖ 令和6年4月採用
- ❖ 事務官(文芸学部出身)

現在私は、大学と自治体の連携(官学連携)の推進業務と、サイバーセキュリティに資する人材の育成業務に携わっています。外部への出張やイベントの開催が多く、緊張する場面もありますが、先輩方が優しくフォローしてくださるのでとても心強いです。

業務を進めるに当たって若手の意見も柔軟に取り入れていただけるので、日々自分の仕事に責任ややりがいを感じています。上司や先輩方に気軽に質問できる環境も大きな魅力だと思います。

先輩職員からのメッセージ(最前線で活躍中の先輩職員から)



- ❖ 無線通信部
電波利用企画課
- ❖ 計画調整担当
- ❖ 平成30年4月採用
- ❖ 事務官（社会学部出身）

総合無線局監理システム（PARTNER）の運用・管理を担当しています。無線局の許認可業務等で使用するシステムであるため、職員が円滑に業務に取り組めるよう、日々努めています。また、国民が利用する電子申請システムの担当でもあるため、外部からの問い合わせに対応することもあります。

現在は子育て中ですが、職場の雰囲気も暖かく、働きやすい環境だと思います。情報通信という社会基盤に貢献しながらワークライフバランスも充実できるところが、総合通信局の大きな魅力です。

1日のスケジュール

- 7:30 始業
メールのチェック
職員への連絡メール送付
- 9:00 職員からの相談対応
各種照会の対応
- 12:00 お昼休み
自席でのんびりしたり、
同期と食べたり… 🌸
- 12:45 お昼休み終了
休憩時間変更制度を
使っているため短めです
- 14:00 電子申請利用者からの
問い合わせ対応
- 16:00 終業
保育園へ子どもを
迎えに行きます！

休日の過ごし方

採用1年目の昨年度
には5回も旅行に行っ
ちゃいました！

まとまった休みもとやすい
ので、入省後はワークラ
イフバランスを充実させま
しょう！



- ❖ 無線通信部陸上第三課
- ❖ 第三私設担当
- ❖ 令和6年4月採用
- ❖ 事務官（経済学部出身）

アマチュア無線局の許認可業務に従事しております。申請
処理や電話・窓口の対応があり、免許人と接する機会も多い
です。身近ながらも、マニアックな世界で、お問い合わせや相談
に答えるのがおもしろいです。

「情報通信って面白そう！」から興味を持ち、説明会で職場
の雰囲気が合いそうだと感じて志望しました。仕事中的まじめ
さと、定時後のにぎやかさ、そんなギャップのある職場です。

先輩職員からのメッセージ(最前線で活躍中の先輩職員から)



- ❖ 総務部 財務課
- ❖ 経理係
- ❖ 平成28年4月採用
- ❖ 技官（理工学部出身）

経理係として、お金の管理を担当し、局内全体の予算要求、執行、決算まで一貫して携わっています。理系出身の技官ですが、文系的な業務にも関われる点に魅力を感じて志望しました。部署を異動すると転職したように業務内容が変わります。大変な部分もありますが、広い視野を持つことができ、自身の成長を実感できます。

また、東京オリンピックや大阪・関西万博のような国際イベントでは、電波監視のため現地に赴いたり、一生忘れない貴重な経験をする機会もあります。是非一緒に情報通信の分野から近畿を盛り上げる仕事をしましょう！

1日のスケジュール

- 8:30 始業
予算要求資料の作成
- 10:00 他部署と打ち合わせ
(予算執行の相談等)
- 12:00 同僚とランチや
近隣でキャッチボール
- 13:00 請求書の支払い処理
- 15:00 月次決算報告準備
- 17:15 終業。同僚と飲みに行くのグッと我慢し、
帰って息子と遊びます！

休日の過ごし方

休日は友達と美味しいご飯を食べに行ったり、旅行に行ったりリフレッシュしています！

また、社会人になってから、ゴルフを始めたので、打ちっぱなしに行き、練習をしていることもあります！



- ❖ 電波監理部監視課
- ❖ 第四監視担当
- ❖ 令和6年4月採用
- ❖ 事務官（経済学部出身）

無線通信への妨害・混信を防ぐため、不法無線局の探査や、捜査機関との共同取締を行っています。また、大阪・関西万博での電波監視など、イベントに携わる機会も多く、近畿の通信環境を陰ながら支えていることに大きなやりがいを感じています。

当局は若手が多く、賑やかな雰囲気、とても働きやすい職場です。分からないことは上司に相談しやすく、文系出身の方でも通信分野に携わることが出来るのが魅力だと思います。



先輩職員からのメッセージ(本省経験若手職員から)

本省では、G7やG20、IGFといった多国間会合への対応が主な仕事でした。また、2023年に「広島AIプロセス」を立ち上げたことで、国際的なAIガバナンスに関する業務もありました。

AIという日々状況が変化する注目度の高い話題に携われたこと、また、情報通信分野の国際交渉に携わり、実際に各国と交渉している姿を間近で見ることができたのは、貴重な経験だったと感じています。また、自分では行かないような国に行けたことも楽しかったです！笑

他の地方局の同期も一斉に本省に集まるので、同期とよくお昼を一緒に食べて、楽しく息抜きしていました。

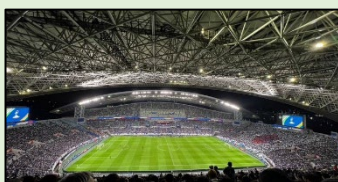


- ❖ 情報通信部情報通信振興課
- ❖ (本省での勤務先)
国際戦略局 参事官付
- ❖ 令和3年4月採用
- ❖ 事務官(法学部出身)

本省1年目は、主に国会関係の業務や能登半島地震に係る災害対応等、局内の仕事をとりまとめる部署を経験し、2年目には、舶用機器に関する法整備や国際会議への参加等、2部署とも地方局では携わることができない業務に従事することができて、とてもよい経験となりました。

また、各地方局の同期が東京に集まったため、サッカー観戦や全国各地へ旅行に出かけたり、充実したプライベートを過ごせました。東京で仲良くなった同期とは今も定期的に連絡を取り合ったり、お互いの住んでいるところへ出かけたりもしています。

本省へ行く前は漠然とした不安ばかりでしたが、周囲の方々にも支えていただいて、公私両面でとても有意義な2年間を過ごすことができました。



- ❖ 無線通信部 陸上第三課
- ❖ (本省での勤務先)
総合通信基盤局 総務課、
基幹・衛星移動通信課
- ❖ 令和3年4月採用
- ❖ 事務官(経営学部出身)

先輩職員からのメッセージ(新規採用職員に聞いてみた)



通勤時や業務中の服装

【女性】

「オフィスカジュアルで勤務しています。」
「ブラウス等をよく着用しています！」
「主にシャツやカーディガンを着ています」

【男性】

「行事の際はスーツ&ネクタイ、夏には
ポロシャツ等クールビズです！」
「基本的にはノーネクタイです。出張が多い
部署なので、動きやすい服装で来ることが
多いです」

職場の雰囲気

「わからないことがあっても、すぐに相談
できるような雰囲気です。」
「仕事は真面目に！ お昼休みには
キャッチボールをしたりしています！」
「和やかな雰囲気で、課全体で協力しながら
業務をしている点が素敵だなと感じて
います！」
「後輩のことを気にかけてくれる先輩ばかり
で、すごく働きやすい環境だと思います。」
「いろいろ挑戦させていただく機会が多いので
日々成長できる職場です！」



退庁後の過ごし方

「同期や先輩とご飯に行っています！余裕が
あるときは時間をかけてご飯を作ったり
しています！」
「ゆっくりと散歩をして帰ったり、買い物を
したりしています！」
「退庁後、そのまま野球観戦に行ったりして
います！」
「基本的に定時に帰るので、趣味の時間を
過ごしたり、先輩と飲みにいったり
します！」
「ぶらぶら散歩をしてリフレッシュしていま
す。」

当局を志望した理由

「大学でプログラミングの授業を受講する
中で情報通信や無線に興味を持ち志望
しました。」
「許認可業務から監視業務まで幅広い仕事
内容に魅力を感じたからです！」
「幅広い仕事があり、新しい技術も出てくる
ので常に成長を目指せる環境があるのでは
ないかと思い、志望しました。」
「日常生活に欠かせない情報通信を通して、
人々の生活を支援したいという思いから志望
しました。」
「職員の方々の明るさに惹かれて選びまし
た。」





ワークライフバランス(出産・育児に係る両立支援制度)

子どもが3歳になるまでは育児休業を取得できるほか、育児短時間勤務や子の看護休暇など、子育てと仕事を両立するための多様な両立支援制度があります。男性職員についても、妻が出産する場合の休暇（配偶者出産休暇、育児参加のための休暇）が設けられています。

職場の仲間がお互いを理解し、それぞれの育児事情にあった制度を活用することで、子育てをしながら、無理せずに活躍し続けることができます。





ワークライフバランス(出産・育児に係る両立支援制度)

【過去10年間の両立支援制度の活用実績】

女性職員の場合

■ 取得率100%

通勤緩和	産前・産後休暇	育児休業	育児時間
休憩時間の短縮	在宅勤務 (テレワーク)	フレックスタイム制	子の看護休暇
早出遅出勤務	育児短時間勤務	健康検診及び保健指導のための職務専念義務免除	

男性職員の場合

配偶者出産休暇	育児参加休暇	育児休業	子の看護休暇
在宅勤務 (テレワーク)	育児時間	フレックスタイム制	

実際に両立支援制度を活用した職員の声



- ❖ 陸上第二課
- ❖ 第三公共担当
- ❖ 平成30年4月採用

通勤緩和

妊娠中に通勤ラッシュの時間を回避して通勤できました。

産前・産後休暇

育児休業

育児休業を3年取得しました。
離乳食や夜泣きの時期を過ぎてから復帰できたので、少しだけゆとりを持って仕事と子育てを両立できています。

フレックスタイム制

在宅勤務 (テレワーク)

テレワーク勤務の日のお昼休み等に、溜まった家事をまとめて終わらせています。

テレワーク勤務の1日のスケジュール

- 6:45 起床
朝ご飯準備等、朝の支度
- 8:00 子どもを幼稚園へ送る
- 8:30 勤務開始
- 12:00 昼休憩（晩ご飯の準備）
- 17:15 勤務終了
- 17:45 子どものお迎え
- 21:00 子どもを寝かせる
- 23:00 就寝

私は、現在3歳の子どもの子育てをしながら、フルタイムで働いています。
私が朝の幼稚園への送り、夫が帰りのお迎えを担当しています。

また、週2回ほどテレワークをしており、お昼休みに買い物に行ったり、晩ご飯の準備をしたり、工夫して子育てと仕事を両立しています。

子育て支援制度が充実しているのはもちろん、いずれの制度も利用しやすい雰囲気であるので、とてもありがたく感じました。

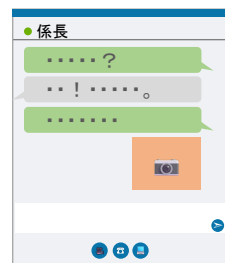


柔軟な働き方を実現するため、総務省ではテレワークの活用を推進しています。職場内においても、従来は育児・介護の職員が主な利用者だったところ、新型コロナウイルス感染症対策を契機に多くの職員が利用することとなりました。

5 類移行後も日常の働き方としての定着に向けて、職員に積極的な利用を呼びかけています。

仕事中わからないことがあっても、テレワークだと上司や先輩に聞きづらいイメージがあります・・・

そんなことはありません。メールだけでなく、社内チャット機能や通話を用いて、資料や画面を共有しながら気軽に質問・相談することができます。



紙でのやりとりが多いと思うのですが、どのようにテレワークを行うのでしょうか？

そんなことはありません。電子申請の推進の他、押印廃止やペーパーレス化が積極的に進められたため、家でできる仕事が、数年前と比べて格段に増えました。

一方、紙でしか扱えない情報もあるため、出勤の日はこの仕事、テレワークの日はこの仕事を行う、とメリハリをつけて業務に取り組んでいます。



テレワークのいいところは何でしょうか？

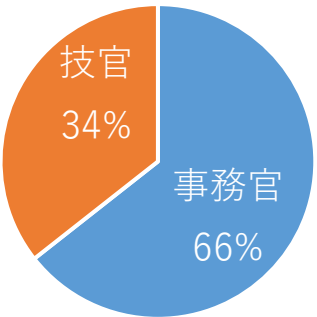
通勤時間がなくなる分、時間を有効に活用することができます。オンライン研修や会議では、集中して参加することができます。



Q. 近畿総合通信局ではどのような人材を求めていますか？

A. 採用に当たっては、試験区分や文系、理系にとらわれず、やる気や可能性を重視した人物本位の採用を行っています。
公務員としての役割を認識し、また、協調性をもって何事にも積極的に取り組み、自分の能力を最大限に活かそうと努力する意欲あふれる人材を求めています。

事務官・技官比



Q. 採用人数はどのくらいですか？

A. 過去5年の採用状況は以下のとおりです。

採用年度	R7	R6	R5	R4	R3
国家一般職(大卒程度) 行政近畿	4(2)	7(4)	6(4)	12(6)	6(3)
国家一般職(大卒程度) 技術(全区分)	1(1)	1(1)	0	1(0)	0
合計	5(3)	8(5)	6(4)	13(6)	6(3)

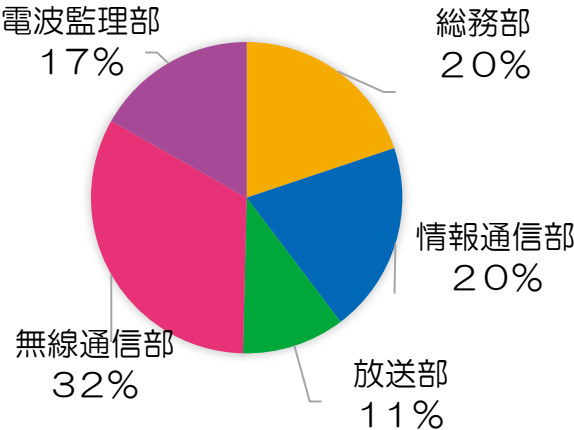
※（ ）内は女性採用者の内数です。

Q. 採用後はどのような業務を経験できますか？

A. 本人の希望や、適正などを考慮して、多くの部署での業務経験を積んでもらうため、おおむね2～3年ごとに担当業務が変更となります。

配属先や業務内容については、行政系と技術系の区別はなく、各人が持てる能力を最大限に発揮できる人事配置を行っています。

部署別職員数比





Q. 電波や通信の知識はありませんが、技術的なことに対応できるでしょうか？

A. 採用前に電波や通信の知識がなくても大丈夫です！

採用後、情報通信政策研究所（東京都国分寺市）を中心に約1ヶ月間の新任職員研修があるほか、各種業務に直結した専門研修も年間を通じて組まれています。

また、職場内でのOJTも充実していますので、仕事に取り組む中で、技術的な内容についても無理なく理解できるようになります。

Q. 勤務地はどこですか？

A. 管轄は近畿2府4県ですが、出張所等がないので大阪合同庁舎第一号館（大阪市中心区）が勤務地となります。

ただし、採用後3年目からの2年間は総務本省（東京都千代田区）での勤務があります。

また、キャリアアップのため、本省での勤務を継続することも可能で、海外勤務も夢ではありません。（南極昭和基地も！）

Q. 勤務時間はどうなっていますか？

A. 基本的に勤務時間は8時30分から17時15分まで（休憩時間は12時から13時まで）です。土日及び祝日並びに年末年始（12月29日から1月3日まで）は休みになります。

Q. 残業はどの程度ありますか？

A. 部署や時期により異なりますが、平均して月10時間に満たない部署がほとんどで、多い部署でも月15時間にはなりません。

時期は、3月、4月など年度末、年度初めが多くなる傾向があります。

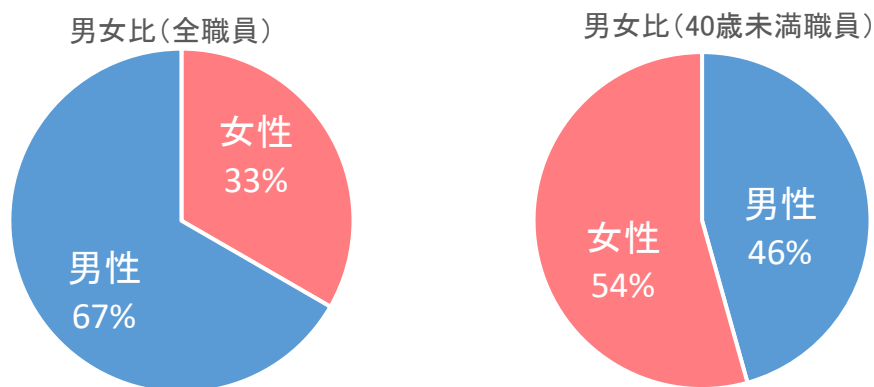
なお、毎週水曜日は定時退庁日としており、残業をしないように職場に呼びかけも行なっています。



Q. 女性は活躍していますか？

A. 職員の男女比は男性7割、女性3割ですが、40歳未満に限定すると女性が約5割在席しています。

また、育児支援制度が充実し、職場の理解もあるため、結婚や出産に伴い仕事を辞める女性職員はほとんどいません。



Q. 出張の頻度はどのくらいですか？

A. 各種会議、無線局検査、電波監視、警察や海上保安庁との共同取締り、電波環境の調査など、配属部署に応じて出張があります。

基本的には近畿管内ですが、各地方の総合通信局や総務本省への出張もあります。頻度は部署により異なります。

Q. 研修制度や内容はどのようなものがあるのでしょうか？

A. 情報通信政策研究所が実施している研修は以下のとおりです。研修期間中は日常業務を離れ、集中して研修に臨める体制を整えています。

- ・ 総合研修 (全員参加)

新規採用職員から管理者までの各階層ごとに、それぞれに必要な知識の修得や能力の開発を目的としています。

- ・ 専門研修 (新たな部署に配属された職員が対象)

特定の業務分野における職務に必要な専門知識・技能能力の修得を目的としています。

※専門研修の例…電波監視科、電波利用環境科、陸上関係無線科、航空海上無線科、サイバーセキュリティ科、防災対策推進科、放送行政総合科、電気通信サービス相談科など



Q. 休暇制度はどうなっていますか？

- A. 年次有給休暇は最大年20日（採用1年目は15日）付与され、未使用日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます。このほか病気休暇、結婚、産前・産後、忌引、夏季などの特別休暇、介護休暇や育児休業などがあります。

Q. 休暇は取れますか？

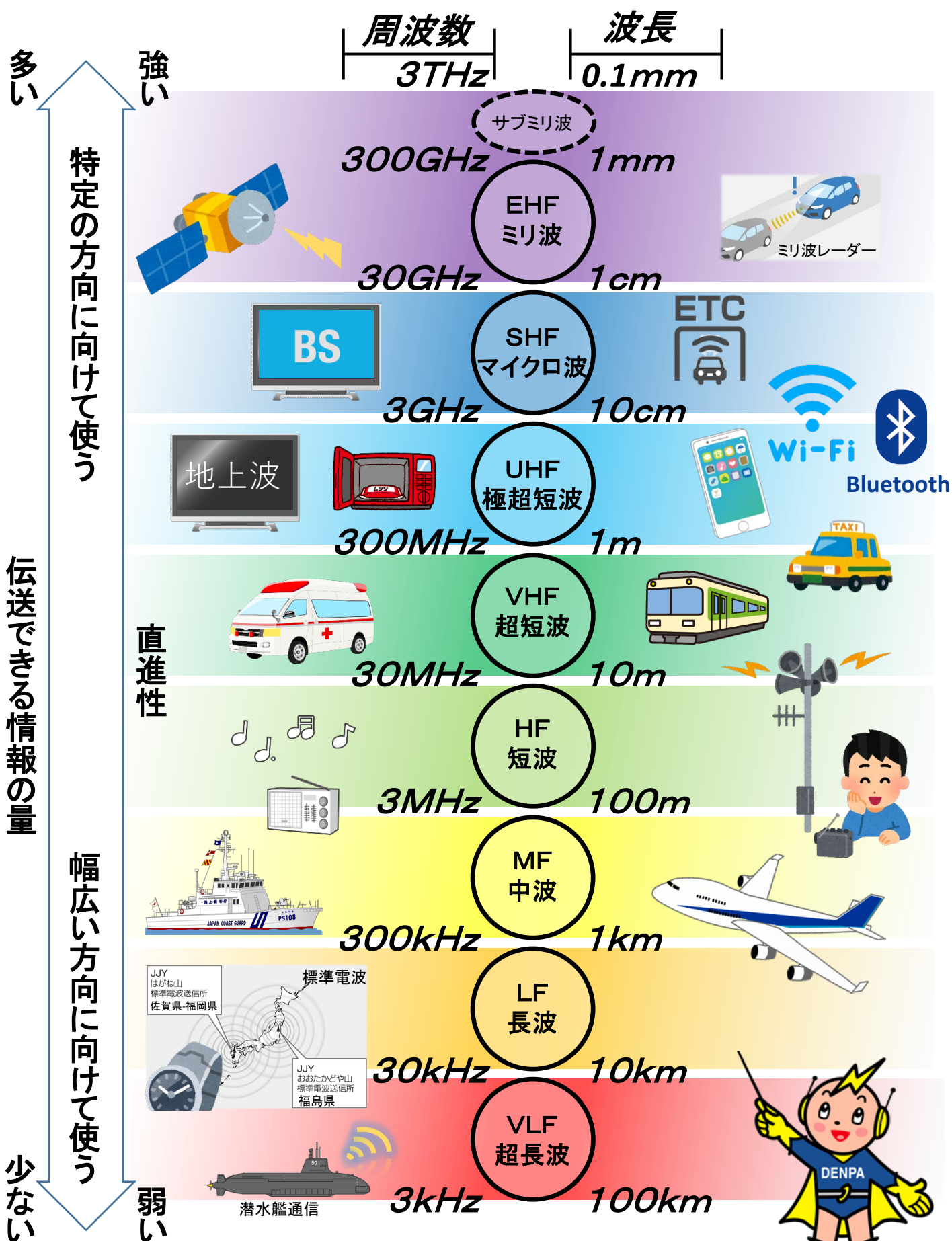
- A. ワークライフバランスの観点からも休暇の取得を奨励しています。過去1年間（1/1～12/31）の休暇の実績として、年次有給休暇の平均取得日数は16日でした。
また、時間単位での休暇も取得できるため、短時間だけ休んで用事をすませることもできます。

Q. 福利厚生等はどうなっていますか？

- A. 総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度などもあります。



(参考) 電波って何に使われてるの？



安心して安全に利用できる電波環境をつくるための規則を総務省が定め、周波数の割り当て等も行っています。



このパンフレットを最後までお読みいただきありがとうございます。

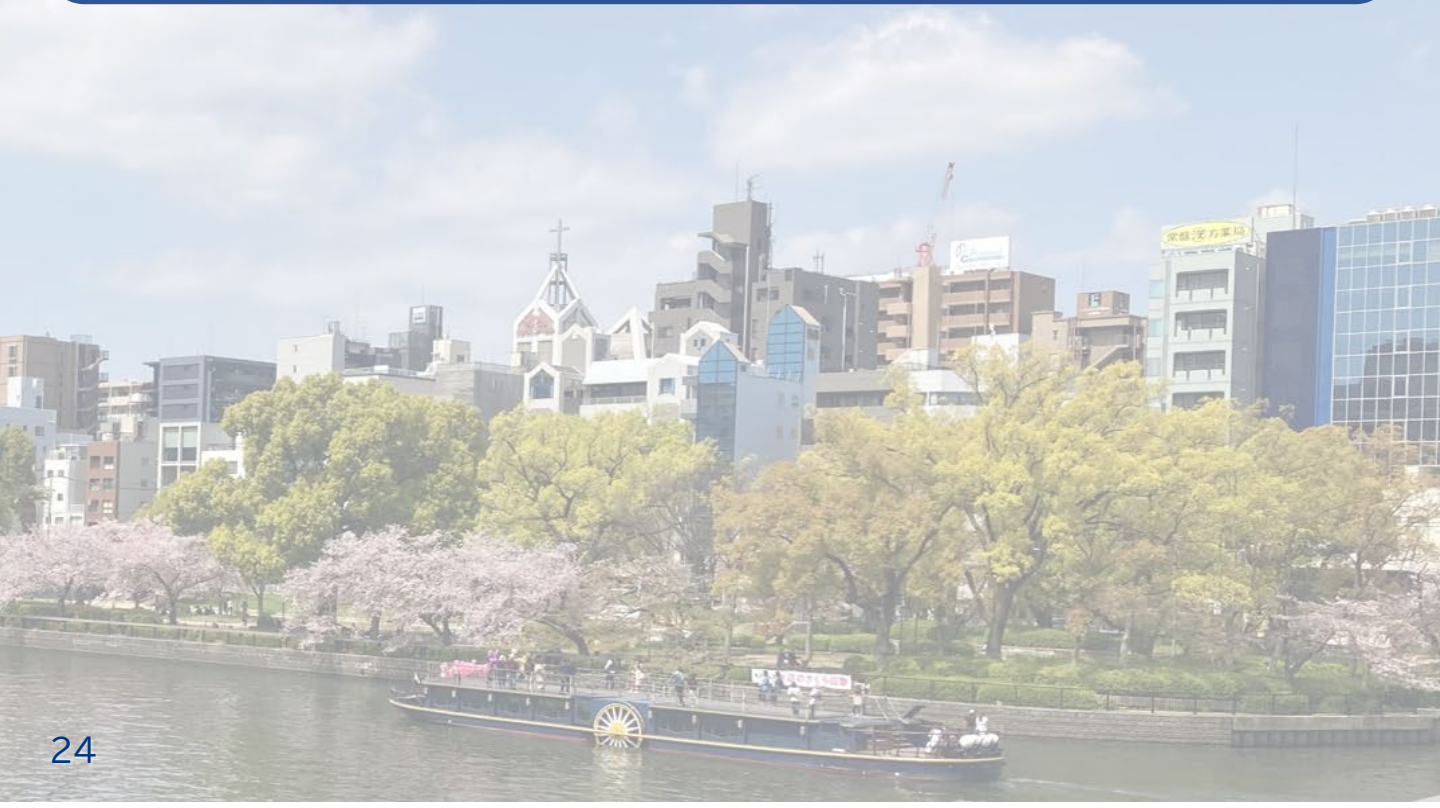
近畿総合通信局は、総務省の地方支分部局の一つです。

近畿2府4県（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）において、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、日々全力で取り組んでいます。

ICT（情報通信技術）の利活用による新たな社会を生み出す**情報通信分野**、放送や携帯電話等の様々な用途に使用される**電波利用分野**、これらの分野をしっかりと支え、日々の暮らしを守るお手伝いをしているのが我々総合通信局です。

新たな発想による時代に即した職場を目指して、共ににぎわいのあるミライの関西を創りましょう！

総務課長 魚野弘幸



採用に関するお問い合わせ

近畿総合通信局
総務部 総務課 職員係

〒540-8795

大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎第1号館4階

電話:06-6942-8507(職員係)



アクセス(交通機関)

大阪メトロ谷町線 天満橋駅3番出口より徒歩2分

京阪本線天満橋駅 東口から徒歩5分